

潤いの森 1月

潤いの森では、春の七草のうちナズナ、ハコベラ、セリが自生しています。

春の七草の風習は、中国の「人日（七種菜羹）」と日本の「若菜摘み」が融合したもので、平安時代の文献『延喜式』にも記録があります。



ナズナ

アブラナ科 越年草
花期：3-6月



ハコベラ（コハコベ）

ナデシコ科 多年草
花期：1-12月



セリ

セリ科 多年草
花期：7-8月



スズナ（カブ）

アブラナ科 越年草
収穫期：10-12月（秋撒）



ホトケノザ（コオニタビラコ）

キク科 多年草

花期：3-5月



スズシロ（ダイコン）

アブラナ科 越年草
収穫期：10-12月（秋撒）



ゴギョウ（ハハコグサ）

キク科 多年草
花期：4-6月



潤いの森で見られる 春の七草



潤いの森で 見られる冬鳥



ジョウビタキ

ヒタキ科 全長：15cm

観察時期：11-3月



ツグミ

ツグミ科 全長：24cm

観察時期：11-4月



シベリアや
中国北東部から

日本の中で
移動する冬鳥

北海道や
東北の山地から

アオジ

ホオジロ科 全長：16cm

観察時期：11-3月



アカハラ

ツグミ科 全長：24cm

観察時期：11-3月



海外から
渡ってくる冬鳥



シロハラ

ツグミ科 全長：24cm

観察時期：11-3月



潤いの森では、冬鳥を5種類観察できます。日本国内を移動する鳥のほか、シベリアや中国北東部から海を越えて渡ってくるものもいます。

冬鳥は寒さに強く、渡りの際には数千キロもの距離を飛ぶこともあります。中には、体重わずか数十グラムで日本までやってくる小鳥もいて、その驚異的な体力はまさに自然の不思議です。